

## 出題の意図

### 問1

本文前半では、アーキテクチャ支配の特徴が具体例を挙げて述べられている。本問は、まず、アーキテクチャによる支配の特徴（事前規制）を法や規範（事後規制）と対比しつつ簡潔にまとめさせることで、文章理解力、要約力を試す。あわせてこの特徴を、メーガン法による性犯罪者情報公開制度にあてはめて説明させることで、この特徴の内容を深く理解しているかを問うている。

### 問2

本文後半では、メーガン法による性犯罪者情報公開制度の概要と、この制度に対する賛成論、反対論が述べられている。両者は、被害者の安全と（元）犯罪者の人権の対立という図式で語られるが、筆者は二つの人権の衝突がそもそも存在するのか、疑問を呈している。本問は、この著者の指摘に留意した上で、同制度の是非について解答者の考えを論じさせる問題である。文章理解力を試すとともに、自分の考えを論理的に答案上に示せるかが問われている。